

【事業報告】

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第50号(2016年)を刊行した。
- (2) 研究員各自のテーマに沿って経済史・経営史にかかわる研究を進めた。また、三井文庫主催の研究会の開催、外部の学会・研究会等への参加(発表)、共同研究の主催、外部機関主催共同研究への参加なども行った。
- (3) 三井越後屋の仕入・販売関係資料、三井家別家関係資料、松坂店関係資料、三井鉱山関係資料、旧三井物産在外支店関係資料などの三井関係資料の調査・収集を進めた。
- (4) 資料の保存と利用のため、資料のデジタルスキニングによる複製作成を進めた。マイクロフィルム劣化対策として複製の作成を進めた。書庫内の資料保存環境整備を進めた。
- (5) 三井関係映画フィルムをデジタル動画化した。
- (6) 旧三井物産関係資料の追加公開を行った。
- (7) 所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進めた。
- (8) 公的諸機関(地方自治体史編纂等)の資料調査、賛助会社等の広報活動・資料保存・社史編纂、報道関係の取材などに協力した。
- (9) 賛助会社向けならびに一般向けの講演会等に講師を派遣した。
- (10) 関係会社、資料保存関係者などの三井文庫見学を受け入れた。
- (11) 資料保存関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (12) 三井文庫資料叢書「三井大坂両替店『聞書』2」の校正作業を進めた。
- (13) 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金の交付(3件)を受け研究を進めた。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 特別展図録の発行で執筆の協力をした。
 - 特別展図録『北大路魯山人の美[和食の天才]』
(NHKプロモーション・日本経済新聞社発行)
- (2) 展覧会図録を作成した。
 - 特別展図録『特別展 松島 瑞巖寺と伊達政宗』(三井記念美術館9月発行)
 - 特別展図録『国立劇場開場50周年記念 日本の伝統芸能展』(三井記念美術館11月発行)

- (3) 『三井美術文化史論集 第10号』を発刊した。
- (4) 文化財保護法第53条の規定に基づく公開承認施設として、平成26年9月17日より平成31年9月16日までの期間、文化庁より認定中。
- (5) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。
- (6) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。
- (7) 館蔵品のうち、粉引茶碗（三好粉引）一口と、『拾遺抄』一冊の2点が、新たに国の重要文化財に指定された。これにより、三井文庫所蔵の指定物件は、国宝6点、重要文化財22件（75点）、重要美術品3件（4点）となった。
- (8) 三井文庫別館で収蔵保管する資料の殺虫・防黴のためのガス燻蒸を、収蔵庫および展示室ごと実施した。また、三井記念美術館の第2収蔵庫で保管する資料の殺虫・防黴のためのガス燻蒸を実施し、また、第2収蔵庫の奥蔵と前室の燻煙および清掃を実施し、防虫防黴処置を行った。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

- (1) 今年度は、下記の6回の展覧会を開催したが、平成28年4月1日から平成29年3月31日現在までに合計140,588人が入館した。平成17年10月8日の開館以来の累計入館者数は1,874,651人となった。
 - ①「三井家のおひなさま 特集展示 三井家の薩摩焼」（前年度より引き続き開催）
（平成28年4月1日～4月3日） 入館者数 1,839人
 - ②「特別展 ユネスコ無形文化遺産登録記念 北大路魯山人の美 和食の天才」
（平成28年4月12日～6月26日） 入館者数 39,541人
 - ③「特別展 アール・ヌーヴォーの装飾磁器 ヨーロッパ名窯 美麗革命！」
（平成28年7月6日～8月31日） 入館者数 22,910人
 - ④「特別展 松島 瑞巖寺と伊達政宗」
（平成28年9月10日～11月13日） 入館者数 40,654人
 - ⑤「特別展 国立劇場開場50周年記念 日本の伝統芸能展」
（平成28年11月26日～平成29年1月28日） 入館者数 18,157人
 - ⑥「三井家のおひなさま 特集展示 三井家の別荘・城山荘の思い出」
（平成29年2月18日～3月31日） 入館者数 17,487人 ※会期終了日 4月2日
- (2) 各展覧会に関連したプログラムを開催したほか、小・中学校の教職員研修会、親子鑑賞会、学校への出張講座など、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的

に取り組んだ。

- (3) 土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」(合計5回)を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

今年度は、「卯の花」の漏水箇所の保全工事を実施した。

「公開」に関しては、昨年12月に数寄屋建築家の田野倉徹也氏を講師に「茶の湯同好会」24名の見学会を実施した。

また、昨年10月に外部講師として老川慶喜氏(跡見学園女子大学教授、立教大学名誉教授)を招き、「堤康次郎と箱根の観光開発」についての研究会を実施し、高村東京大学名誉教授・上山國學院大學教授・渡邊駒澤大学教授・高橋箱根町教育委員会学芸員の他三井文庫職員11名計16名が参加した。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

三井花桐ビルは、現在全フロア満室となっている。また、今年度は中性能フィルター交換工事、積算電力量計交換工事等を実施した。